

揺らして
なっとく!

動的耐震診断3つの安心!

1 耐震補強を低予算で実現!

実際に家を揺らす水平起振器による測定を行い、地震の際、家にどんな影響があるのかを正確に診断します。家のどこが弱いかをしっかりと判断した上で、必要な部分だけ効果的に耐震補強ができます。無駄のない耐震補強工事をするので、コストダウンを実現します。

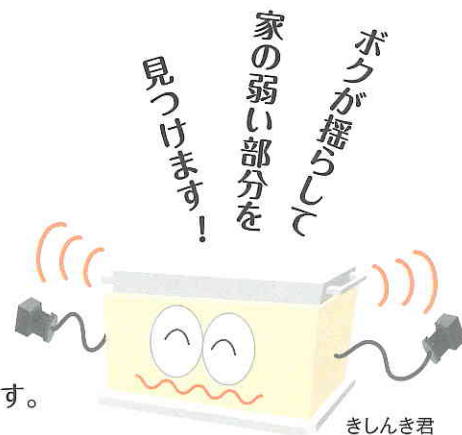
2 揺れを体感して実感!

家の2階(または3階)中心に水平起振器を設置して、振動を与え測定します。実際に揺れを感じることができるので納得のいく診断ができます。

※震度1~1.5レベルの振動ですので建物に影響はありません。

3 耐震補強後に効果測定(再診断)!

耐震補強工事後にも同じ水平起振器を使った効果測定(動的耐震診断)を行います。自分でも揺れの違いが体感でき、確かな数値で耐震性を知ることができます。



ある日、突然おそってくる地震...

地震に耐えられる家なのかどうかを知ることは、
家族の生命と財産を守るために
なくてはならない重要な情報です。

安全で安心な快適住空間を手に入れるために

備えあれば憂い無し

耐震補強工事をするタイミングとは...

住宅リフォームをするとき...

リフォームをする際、同時に耐震補強工事を行うことをおすすめします。実は、部屋内部のクロスや壁をリフォームするタイミングが、耐震構造を強化する大きなチャンスです。例えば、キッチン、ダイニング、リビングを繋げてスペースを広くした場合、壁などを減らすことで耐震強度が下がる場合があります。住宅の構造強度を損なわず、安全なリフォームをするためにも「動的耐震診断」が必要です。耐震補強工事とリフォームを同時に行うことで予算が抑えられ、安心も手に入れます。



家を売却するとき...

売り家の「動的耐震診断」後効果的な耐震補強工事を行うことで、構造評価(上部構造評点*)を上げることができます。その付加価値により、他の物件と差別化ができ、家の売却を有利に行うことができます。また、買い主に安心を与えることができます。

中古住宅を購入するとき...

購入したい中古住宅の耐震構造を知ることは、とても大切なことです。安心して移り住む前に「動的耐震診断」を行いましょう。診断結果をみて安心して購入することができます。

動的耐震診断

耐震補強工事

効果測定(再診断)

地震に強い
住宅に!

「動的耐震診断」の お申し込み

2階・3階建て木造軸組工法の住宅を診断することができます。その他の工法住宅はご相談ください。

「動的耐震診断」の実施

プロの建築士が訪問し、水平起振器による測定を行います。実際に家を震度1~1.5程度に揺らし、どの箇所が弱いのかを調査します。また一般診断として、建築図面を参考に、床下や小屋裏に入って筋交い1本1本の位置まで目視で確認します。2つの診断から耐震性を総合的に判断します。



水平起振器



揺れを測定するセンサー



住宅の特性を分析し
データ解析を行います。

診断結果の 報告書提出

水平起振器で得られたデータ、および建築士による目視をもとに診断結果をまとめた【水平起振器測定報告書】をご提出します。耐震強度は、総合評価にある上部構造評点*の数値でわかります。

診断結果
上部構造評点が
1.0以上の場合
上部構造評点*が1.0以上の
場合、耐震補強は必要
ありません。

※上部構造評点とは
建築基準法の想定する
大地震動での倒壊の
可能性を示す数値です。

診断結果
上部構造評点が
1.0未満の場合
上部構造評点*が1.0未満
の場合、建物の倒壊する
可能性が高くなります。

上部構造評点*が低いと
建物が倒壊する可能性が
高くなります!!

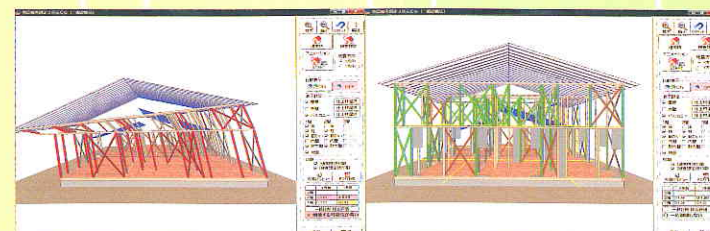
耐震補強 工事計画書と お見積書の提出

動的耐震診断および一般診断の結果をもとに、どの箇所に補強が必要かを明確にした【耐震補強工事計画書】と耐震補強工事の【お見積書】をご提出します。



ご契約
お客様の合意をいた
だきましたら、耐震
補強工事の契約成
立です。

耐震補強工事の実施
診断結果を受けて、地
震に弱い部分を効果的
に補強する工事を行
います。住宅リフォームと
同時に行うと低予算に
繋がります。

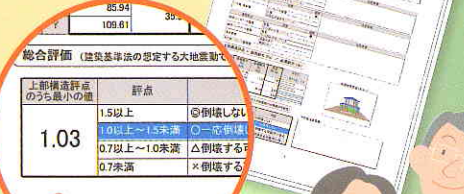


耐震診断CADで現状分析

耐震補強計画を設計

効果測定(再診断)

再度、水平起振器を使った測定を行います。実際に家を揺らし補強効果を確認します。補強工事前と後での揺れの違いをご自分でも体感していただけます。後日、【効果測定報告書】をご提出しますので、数値による効果が確かめられ安心です。

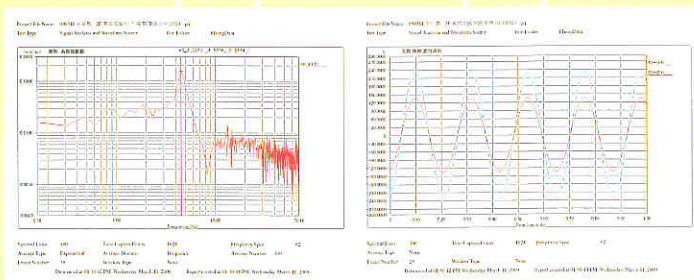


耐震補強工事後の診断結果は
上部構造評点*が高くなり
耐震構造が強化されました!!

※上部構造評点による総合評価
(建築基準法の想定する大地震動での倒壊の可能性を示す数値)

評 点	判 断
1.5以上	◎ ... 倒壊しない
1.0以上~1.5未満	○ ... 一応倒壊しない
0.7以上~1.0未満	△ ... 倒壊の可能性がある
0.7未満	× ... 倒壊の可能性が高い

●国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の2004年度改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に準拠した結果で報告書をご提出します。
●診断結果に問題がなくても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。



一番揺れる振動数(周波数)や特定振動数(周波数)による揺れ幅をセンサーで解析